

2023年3月31日

MIRARTHホールディングス株式会社

「SDGs Quest みらい甲子園 首都圏大会」
ファイナルセレモニー実施のお知らせ
～ “持続可能な社会の担い手” の育成に向けて ～

MIRARTHホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区／代表取締役：島田和一）は、SDGs Quest みらい甲子園 首都圏大会実行委員会が主催する「SDGs Quest みらい甲子園 2022年度首都圏大会」に協賛いたしました。

この度、3月25日にファイナルセレモニーを実施しましたので、お知らせいたします。



■ SDGs Quest みらい甲子園とは

「SDGs Quest みらい甲子園」とは、高校生が持続可能な地球の未来を考え行動するために、SDGsを探究し、社会課題解決に向けたアイデアを創出し、そのアクションアイデアを発表する大会です。その上で、新学習指導要領に記載されている“持続可能な社会の担い手”を育てるために、SDGsを起点とした社会課題解決に向けた行動を促す機会の創発を狙いとしております。

当イベントは2019年に北海道・関西エリアでスタートし、開催エリア及び参加者の規模は年を追うごとに拡大を続け、2022年度は全国11エリア25都道府県で開催されました。

当社が掲げるOur Purpose（存在意義）「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」にも通じる取り組みであり、“持続可能な社会の担い手”育成の一助に寄与できると考え、協賛を行っております。

2022年度の首都圏大会には、1都3県（東京、千葉、埼玉、神奈川）の53校から242チーム計1,086名の学生が参加し、アイデアプランでの一次書類審査、プレゼンテーション動画を通しての二次審査を通過した12チーム総勢49名がファイナルセレモニーに参加しました。当日は各チームのアイデアプランのプレゼンテーション、表彰式やワークショップが行われました。

■ ファイナルセレモニーに際して

経営企画本部 グループ経営企画部長 鈴木 健介 コメント

当社は昨年 10 月に持株会社体制へ移行し、タカラレーベンから MIRARTH ホールディングスへと商号を変更いたしました。Mirai（未来）と Earth（地球）を掛け合わせた社名となっており、存在意義であるパーパスには「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」と掲げています。当社としても持続可能な環境をつくるべく、力を入れ取り組んでいる事業の一つが再生可能エネルギー事業です。2013 年の事業参入以降、全国各地で太陽光発電所 200 か所以上、容量としては約 360MW を発電しています。脱炭素社会の実現に繋がる一つの手法として、今後もこの再生可能エネルギー事業の推進を続けてまいります。



今回の協賛にあたって、ファイナリストの皆さんのプレゼンテーション動画を拝見いたしました。短い時間の中でも、企画のポイントが丁寧にまとめられており、ユニークな企画内容に加え、皆さんの熱意が伝わってきました。企業側としても「より力を入れて頑張っていかなければならない」という想いに駆られただけでなく、SDGs の目標達成には、皆さんの企画のような具体的なアクションに、企業だけでなく、社会全体で取り組んでいくことが必要である、と私自身改めて考えさせられました。本日はこのような多くの方の前で発表する貴重な機会なので、ぜひ楽しんでください。

■ セレモニー詳細

各チームのプレゼンテーションでは SDGs のゴールを見据えた世界的な課題に関するアクションから、地域特有の産業を活かして、拡大を図っていくようなアクションまで、多種多様なアイデアが紹介されました。

チーム名	学校名称	対象ゴール No.	プラン名称
HUG	筑波大学附属坂戸高等学校	4 質の高い教育をみんなに	生徒に当事者性を持たせる性教育の提案
Time for you to shine	東京都立五日市高等学校	15 陸の豊かさを守ろう	アウトドアで課題解決！ ～自然を活かしきる体験型旅行～
メディカル119	立花学園高等学校	3 すべての人に健康と福祉を	医師・看護師を救おう！ ～みんなの健康を守るために～
MIIT	三田国際学園高等学校	17 パートナーシップで目標を達成しよう	異世代間フレンドシップ さよなら、デジタルデバイド
えびちゃんs'	和洋九段女子高等学校	10 人や国の不平等をなくそう	gimminion -あなたの意見を聞かせて-
Next To Refugees	森村学園高等部	10 人や国の不平等をなくそう	ゲームを通して難民を知ろう
KPYSHSIS IB course	神奈川県立横浜国際高等学校	12 つくる責任 つかう責任	お米のみ殻を再利用 ～エコな容器に作り変えよう～
麗澤高等学校SDGs研究会「EARTH」	麗澤高等学校	5 ジェンダー平等を実現しよう	教育で生きやすい世界へ ～認知から興味、そして味方へ～
子供の笑顔を増やし隊	関東学院高等学校	15 陸の豊かさを守ろう	ガラス片で守る世界 ガラス瓶リサイクルの新しい可能性
ぴかりん	香蘭女学校高等科	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	人も歩けば発電できる ～キャパシタを使って振動発電をしよう～
こめこん	かえつ有明高等学校	3 すべての人に健康と福祉を	保護動物を用いて社会福祉に貢献する
M&M's	豊島岡女子学園高等学校	16 平和と公正をすべての人に	核兵器は「損のシンボル」 ～国連にSDGs分担金を創設～

最優秀賞は、豊島岡女子学園高等学校「M&M's」の提案した「核兵器は“損のシンボル”～国連にSDGs分担金を創設～」というアクションアイデアが受賞し、プレゼンターを務めた実行委員の田中多恵様より「平和のためにお金を使うべきであるというシンプルなメッセージを真っ直ぐに伝えてくれているところに感動を受け、最優秀賞に相応しいと思いました。」と、評価されました。

また表彰式後には、各チームのメンバーが6つのグループに分かれ、各チームのアイデアをブラッシュアップするワークショップも開かれるなど、SDGsの目標達成に向けて取り組みを行っている学生同士の交流も図られました。



引き続き当社グループでは、Our Purpose（存在意義）「サステナブルな環境をデザインする力で、人と地球の未来を幸せにする。」に込めた想いを実現するべく、住宅の供給や自然エネルギーの導入などの様々な事業を行ってまいります。また、今回のようなイベントを通じ、事業に限ることなく、より一層SDGsの目標達成に向けた取り組みを支援・推進することで、各地域の課題解決に寄与し、持続可能な社会の実現に向けて尽力してまいります。

■ イベント概要

募集内容：SDGsの目標達成に向けた高校生によるアクションアイデアプラン

スケジュール：2022年10月1日 エントリー開始
 2023年1月12日 エントリー〆切
 2月中旬 一次審査実施
 3月中旬 二次審査実施
 3月25日 首都圏大会ファイナルセレモニー開催

主催：SDGs Quest みらい甲子園首都圏大会実行委員会

	<p>佐藤 真久 実行委員長 東京都市大学大学院 環境情報学研究所 教授</p>		<p>田中 多恵 実行委員 特定非営利活動法人エティック シニアコーディネーター</p>		<p>新田 英理子 実行委員 一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 理事・事務局長</p>
	<p>原畑 実央 実行委員 ソーシャルマッチ株式会社 代表取締役</p>		<p>加藤 佑 実行委員 ハーチ株式会社 代表取締役</p>		<p>雑崎 徹 実行委員 朝日新聞社総合プロデュース本部 本部長補佐</p>

共催：朝日新聞社総合プロデュース本部
 後援：国連広報センター、ジャパンSDGsアクション推進協議会、千葉県、埼玉県、神奈川県、千葉県教育委員会、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、八王子市教育委員会、横浜市教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会、JICA 東京、JICA 横浜

URL：<https://sdgs.ac/about/entry2022/syutoken>

■ 会社概要

商 号 : MIRARTH ホールディングス株式会社
代 表 者 : 代表取締役 島田 和一
所 在 地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-2 鉄鋼ビルディング 16F
設 立 : 1972年9月
事 業 内 容 : グループ会社の経営管理等
資 本 金 : 4,819 百万円
U R L : <https://mirarth.co.jp>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

MIRARTH ホールディングス株式会社

グループ広報部

担当：大島

Tel：03-6551-2130